

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年10月29日

上場会社名 スカイマーク株式会社
 コード番号 9204 URL <http://www.skymark.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西久保 慎一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理本部長 (氏名) 有森 正和
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日
 配当支払開始予定日

上場取引所 東

TEL 03-5708-8280

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	21,044	5.4	2,198		2,021		1,987	
21年3月期第2四半期	22,236		2,689		2,424		2,079	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	28.58	28.56
21年3月期第2四半期	34.92	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	18,896	10,731	56.0	152.21		
21年3月期	17,889	8,723	48.1	123.63		

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 10,584百万円 21年3月期 8,597百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		0.00		0.00	0.00
22年3月期		0.00			
22年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	3.1	3,100		3,000		2,000		28.76

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ(定性的情報・財務諸表等)4.その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無
以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ「重要な会計方針の変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	69,885,700株	21年3月期	69,885,700株
期末自己株式数	22年3月期第2四半期	345,500株	21年3月期	345,500株
期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	69,540,200株	21年3月期第2四半期	59,540,200株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ「1.経営成績(1)経営成績の分析」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間（以下、当第2四半期）におけるわが国経済は、急激な景気悪化傾向から脱しつつあるものの、個人消費は回復するには至らず、不透明感が拭えない状況にあります。

航空業界におきましては、原油価格が上昇に転じており、経済情勢の影響により国内旅客需要が低迷する中、航空各社の旅客獲得競争は一層激化し、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような事業環境におきまして、当社は航空機11機体制による東京＝福岡線、東京＝札幌線、東京＝神戸線、東京＝那覇線の主要路線及び、東京＝旭川線、福岡＝那覇線の定期運航をいたしました。

航空機の転換計画は、Boeing 737-800型機（以下：B737型機）1機の導入（平成21年5月）とBoeing 767-300型機（以下：B767型機）1機の返還（平成21年6月）が予定通り完了し、残りのB767型機1機も路線運航を終了（平成21年9月）し、返還準備に着手しました。

これにより第2四半期末における運航する航空機の編成はB737型機10機となりました。

国内線旅客事業につきましては、航空機材の転換に伴う提供座席数の減少、国内旅客需要の縮小による旅客数の減少、競争激化による旅客単価の下落等により旅客収入は20,732百万円（前年同期21,875百万円5.2%減）と減少いたしました。第2四半期会計期間（平成21年7月～9月）におきましては、改善しております。

事業費につきましては、航空機の転換が進んでいることから空港使用料の減少（前年同期比10.1%減）、燃料購入量の減少、燃料価格の低下による燃料関連費の減少（前年同期比40.5%減）、航空機材費の減少（前年同期比9.2%減）、整備費の減少（前年同期比46.5%減）等により、事業費総額は17,662百万円（前年同期23,544百万円25.0%減）と大幅に減少しました。販売費及び一般管理費は1,183百万円（前年同期1,381百万円）と減少しました。

これらの結果、事業収益は21,044百万円（前年同期22,236百万円）、営業利益は2,198百万円（前年同期 営業損失2,689百万円）、経常利益は2,021百万円（前年同期 経常損失2,424百万円）、四半期純利益は1,987百万円（前年同期 四半期純損失2,079百万円）となりました。

国内定期路線の搭乗実績は次のとおりであります。

	平成21年						第14期 第2四半期 平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
東京＝福岡線	73%	78%	75%	81%	91%	86%	80%
東京＝札幌線	63%	66%	79%	82%	89%	88%	78%
東京＝神戸線	61%	71%	74%	88%	94%	88%	78%
東京＝那覇線	70%	75%	85%	81%	85%	90%	81%
東京＝旭川線	39%	47%	62%	65%	70%	74%	62%
福岡＝那覇線	33%	39%	32%	34%	53%	56%	41%
* 札幌＝旭川線	* 23%	* 20%	* 23%	-	-	-	* 22%
合計	65%	70%	74%	78%	86%	84%	76%

*札幌＝旭川線には、経由便を含んでおります。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の資産合計は、前事業年度末に比べて1,006百万円増加し、18,896百万円となりました。これは主に、現金預金の増加2,198百万円、長期預け金の減少620百万円、営業未収入金の減少392百万円、貯蔵品の減少212百万円によるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べて1,001百万円減少し、8,165百万円となりました。これは主に、定期整備引当金の増加399百万円、未払消費税等の増加273百万円、前受旅客収入金の増加198百万円、リース債務の増加196百万円、返還整備引当金の減少1,775百万円、未払金の減少317百万円によるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べて2,008百万円増加し、10,731百万円となりました。これは主に、当期純利益1,987百万円の計上によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物残高は、前事業年度末に比べて2,198百万円増加し、5,266百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2,777百万円となりました。収入の主な内訳は、税引前四半期純利益2,030百万円の計上に加え、航空機材（B767-300型機）の返還に伴う長期預け金の減少620百万円、売上債権の減少392百万円、未払消費税等の増加273百万円であり、支出の主な内訳は、未払金の減少239百万円、前払費用の増加136百万円、返還整備引当金及びその他の非資金性費用の加減算であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は519百万円となりました。収入の主な内訳は、航空機材（B767-300型機）の返還に伴うリース保証金等の回収142百万円であり、支出の主な内訳は、主力航空機材（B737-800型機）用予備部品並びにその他の有形固定資産の取得473百万円、新規航空機材導入に伴うリース保証金等の差入れ200百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は9百万円となりました。これは、リース債務の返済によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期の業績は、旅客収入は回復基調で推移し、大幅なコスト削減を実現いたしました。下期以降も旅客収入は増加、並びに事業構造の変革によるコストの大幅な削減が確実に見込まれることから、平成21年5月14日に公表しました業績予想を修正いたします。

詳細は、平成21年10月29日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

航空機整備部品（貯蔵品）の処理に関する会計方針の変更

航空機整備部品（貯蔵品）につきましては、従来、使用時に費用処理する方法を採用しておりましたが、当事業年度中に当該航空機整備部品の使用状況がB737型機に限定されることに伴い、その使用量が一定水準になり、短期間で費消されることが見込まれ、かつ、財務の健全性の観点から、第1四半期より、購入時に費用処理する方法へ変更いたしました。これにより、営業利益、経常利益、四半期純利益がそれぞれ85百万円減少しております。

5 . 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位 : 千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,266,349	3,067,397
営業未収入金	1,853,334	2,245,419
貯蔵品	91,989	304,883
未収入金	411,744	472,147
未収還付消費税	-	81,362
前払費用	1,100,475	962,569
その他	20,469	16,339
貸倒引当金	18,302	22,331
流動資産合計	8,726,061	7,127,789
固定資産		
有形固定資産		
航空機部品	3,159,879	3,056,383
減価償却累計額	1,710,086	1,526,296
航空機部品 (純額)	1,449,793	1,530,086
建物	493,543	486,152
減価償却累計額	245,603	217,106
建物 (純額)	247,939	269,045
機械及び装置	1,220,848	-
減価償却累計額	31,843	-
機械及び装置 (純額)	1,189,004	-
車両運搬具	1,214,630	1,238,894
減価償却累計額	1,023,751	996,569
車両運搬具 (純額)	190,878	242,324
工具、器具及び備品	817,145	818,153
減価償却累計額	513,359	467,192
工具、器具及び備品 (純額)	303,786	350,960
リース資産	689,100	482,400
減価償却累計額	30,244	10,720
リース資産 (純額)	658,855	471,680
建設仮勘定	37,233	1,072,314
有形固定資産合計	4,077,490	3,936,411
無形固定資産	22,859	25,092
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,781,306	1,847,628
長期預け金	4,203,348	4,824,014
その他	58,382	67,013
貸倒引当金	8,331	9,129
投資その他の資産合計	6,034,706	6,729,527
固定資産合計	10,135,056	10,691,031
繰延資産	35,421	70,843
資産合計	18,896,539	17,889,663

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	1,470,177	1,567,502
未払金	59,526	377,431
未払費用	481,533	370,128
未払法人税等	81,308	42,862
未払消費税等	273,608	-
前受旅客収入金	1,441,541	1,243,393
定期整備引当金	344,145	390,759
返還整備引当金	434,536	2,275,040
その他	161,337	181,212
流動負債合計	4,747,715	6,448,331
固定負債		
定期整備引当金	2,507,923	2,062,239
返還整備引当金	190,150	125,606
リース債務	649,571	460,490
その他	70,046	69,946
固定負債合計	3,417,692	2,718,283
負債合計	8,165,407	9,166,615
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,777,465	4,777,465
資本剰余金	3,910,625	7,291,782
利益剰余金	1,987,304	3,381,156
自己株式	90,991	90,991
株主資本合計	10,584,404	8,597,099
新株予約権	146,727	125,948
純資産合計	10,731,131	8,723,047
負債純資産合計	18,896,539	17,889,663

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
事業収益	22,236,601	21,044,534
事業費	23,544,928	17,662,475
事業総利益又は事業総損失()	1,308,326	3,382,059
販売費及び一般管理費	1,381,126	1,183,114
営業利益又は営業損失()	2,689,452	2,198,944
営業外収益		
受取利息	1,160	420
為替差益	126,003	-
違約金収入	110,024	95,902
その他	28,519	40,361
営業外収益合計	265,707	136,684
営業外費用		
支払利息	-	25,481
為替差損	-	288,470
その他	288	276
営業外費用合計	288	314,228
経常利益又は経常損失()	2,424,033	2,021,400
特別利益		
固定資産売却益	359,478	7,640
その他	511	35,395
特別利益合計	359,989	43,035
特別損失		
固定資産除却損	2,162	32,527
その他	439	1,510
特別損失合計	2,602	34,037
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失()	2,066,646	2,030,399
法人税、住民税及び事業税	12,411	43,094
法人税等合計	12,411	43,094
四半期純利益又は四半期純損失()	2,079,057	1,987,304

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 ()	2,066,646	2,030,399
減価償却費	527,334	459,105
長期前払費用償却額	32,056	20,636
貸倒引当金の増減額(は減少)	158	4,826
定期整備引当金の増減額(は減少)	436,266	399,070
返還整備引当金の増減額(は減少)	1,616,507	1,775,960
受取利息及び受取配当金	1,160	420
支払利息	-	25,481
為替差損益(は益)	115,179	173,648
固定資産売却損益(は益)	359,478	7,640
固定資産除却損	2,162	32,527
売上債権の増減額(は増加)	92,765	392,085
たな卸資産の増減額(は増加)	7,587	212,894
前払費用の増減額(は増加)	324,617	136,446
未収入金の増減額(は増加)	379,585	60,109
長期預け金の増減額(は増加)	667,175	620,666
仕入債務の増減額(は減少)	112,833	97,325
前受旅客収入金の増減額(は減少)	82,038	198,147
未払金の増減額(は減少)	114,572	239,063
未収消費税等の増減額(は増加)	68,256	81,362
未払消費税等の増減額(は減少)	-	273,608
その他の資産の増減額(は増加)	3,292	16,933
その他の負債の増減額(は減少)	118,361	126,620
小計	230,238	2,827,746
利息及び配当金の受取額	1,160	420
利息の支払額	-	26,940
法人税等の支払額	24,331	23,958
営業活動によるキャッシュ・フロー	253,409	2,777,267
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	1,121,072	473,927
有形固定資産の売却による収入	872,306	11,960
敷金及び保証金の差入による支出	306,006	200,687
敷金及び保証金の回収による収入	474,778	142,198
貸付金の回収による収入	251	797
投資活動によるキャッシュ・フロー	79,743	519,659
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	3	-
リース債務の返済による支出	-	9,819
財務活動によるキャッシュ・フロー	3	9,819
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	48,836
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	333,161	2,198,951
現金及び現金同等物の期首残高	1,489,045	3,067,397
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,155,883	5,266,349

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年6月23日開催の定時株主総会決議に基づき、資本準備金の減少と剰余金処分を行い、第1四半期会計期間において、資本剰余金が3,381,156千円減少し、利益剰余金が3,381,156千円増加しました。

この結果、当第2四半期会計期間末において、資本準備金が3,910,625千円、四半期純利益計上により、利益剰余金が1,987,304千円となっております。